

環境自主行動計画と環境会計の実績

環境保護のために中期的な目標を設定して計画的な環境保全活動を全社的に推進し、それにかかわる投資と費用、その効果について定量的な把握に取り組んでいます。

■ 環境自主行動計画										
環境目的	重点課題	2017年度計画	2017年度実績	評価	要因と留意事項	2018年度計画	2019年度計画	2020年度計画	評価	
温暖化防止	温室効果ガスの削減	生産CO ₂ 総排出量削減	前年度比 1%以上削減	2016年度比 3.1%増加	☹	<ul style="list-style-type: none"> 水銀灯などの従来型の照明からLED照明への更新など高効率機器への切り替え、養生工程で発生する高温排水などからの排熱回収利用推進などの省エネ取り組みにより原単位は削減出来たが生産量が増加したため総量としては2.6%増加となり目標達成出来なかった 工程トラブルによる生産効率の悪化や新商品切り替えロスなどの悪化要因を含みながらも省エネテーマの確実な実施や生産能力をアップさせたことにより全体として原単位を削減することができた 	前年度比 1%以上削減	前年度比 1%以上削減	前年度比 1%以上削減	
		生産CO ₂ 原単位削減	前年度比 1%以上削減	2016年度比 1.5%削減	😊		前年度比 1%以上削減	前年度比 1%以上削減	前年度比 1%以上削減	
		使用エネルギー原単位削減	前年度比 1%以上削減	2016年度比 0.9%削減	☹		前年度比 1%以上削減	前年度比 1%以上削減	前年度比 1%以上削減	
		物流CO ₂ 排出原単位削減	重量原単位 前年度比 1%以上削減	2016年度比 2.6%削減	😊		トラックへの商品積込みの際の荷台の充填率向上や工場配送ルートの合理化により目標達成	前年度比 1%以上削減	前年度比 1%以上削減	前年度比 1%以上削減
資源循環	廃棄物排出量の削減	廃棄物原単位の削減	社外処理委託量原単位 前年度比 2%以上削減	2016年度比 0.4%増加	☹	<ul style="list-style-type: none"> 目標未達の主な要因 不良や工程トラブルが増加し、その処理対応で廃棄物が増加 新商品の量産試作に伴う製造仕様切り替えの増加により生産効率低下 ラインの大規模な工事に伴う設備廃却による産廃量増加 	前年度比 2%以上削減	前年度比 2%以上削減	前年度比 2%以上削減	
		廃棄物のリサイクル	社外リサイクル率99.0%以上	96.94%	☹	現状では埋立て処分をせざるを得ない検討中の新規材料の廃棄増加により悪化	社外リサイクル率 99.0%以上	社外リサイクル率 99.0%以上	社外リサイクル率 99.0%以上	
	現場端材の回収リサイクル推進	端材回収・再利用推進	回収量：約0.77万トン	😊	端材回収リサイクル体制構築を推進したが、回収量は前年に比べ低下(-3.9%)	端材回収 リサイクル推進	端材回収 リサイクル推進	端材回収 リサイクルの推進		
汚染防止	環境負荷物質削減	PRTR対象VOC 大気排出量削減	前年度比 2%以上削減	2016年度比 17.5%増加	☹	<ul style="list-style-type: none"> 溶剤含有率の高い塗料を使用している新商品へシフトしたことにより悪化 脱臭炉の維持管理が不十分で1年を通して脱臭性能を維持できなかった 	前年度比 2%以上削減	前年度比 2%以上削減	前年度比 2%以上削減	
環境管理	環境保全	環境事故ゼロ	環境事故ゼロ	排水基準オーバー発生	☹		環境事故ゼロ	環境事故ゼロ	環境事故ゼロ	
	環境情報開示	環境報告書作成・開示	環境報告書作成・開示	環境報告書作成・開示(冊子&Webサイト)	😊		環境報告書作成・開示	環境報告書作成・開示	環境報告書作成・開示	
	廃棄物適正処理	<ul style="list-style-type: none"> 電子マニフェスト化推進 廃棄物適正処理推進 	<ul style="list-style-type: none"> 電子マニフェスト化推進 廃棄物適正処理推進 	<ul style="list-style-type: none"> 電子マニフェスト化推進 排出側100%完了 処分側は目標100%推進中 	😊	<ul style="list-style-type: none"> 全製造事業所に対し環境監査を実施 届出など含めた遵法性と管理体制を主眼に監査を実施。重大な法違反は確認されなかったが、不備、不足な点の指摘、改善指示を実施 	監査での重大な指摘なし 廃棄物適正処理推進	監査での重大な指摘なし 廃棄物適正処理推進	監査での重大な指摘なし 廃棄物適正処理推進	
	環境関連法遵守	監査での重大な指摘なし	監査での重大な指摘なし	監査での重大な指摘なし	😊					

環境会計

ケイミューでは持続可能な社会構築に向けた取り組みの一環として事業活動での環境保全にかかわるコストとその活動により得られた経済効果などを定量的に把握しています。

2017年度の環境関連設備投資額は5億5,800万円(前年比31%増)となりました。これは大気汚染・水質維持の取り組み強化、生産工程でのエネルギーロスの改善、LED照明への更新、主原料還元施設の導入など、公害防止・地球環境保全・資源循環の各分野で積極的な推進をしたことによるものです。また、省エネルギー、包装材費用の削減などで企業内経済効果額は2億3,900万円(前年比4%減)となりました。

■ 2017年度企業内経済効果(工場・開発部門) (単位:百万円)

項目	経済効果	主な内容	
費用削減	エネルギー費用の削減	115	乾燥機の断熱効果、排気経路見直し乾燥、養生条件の適正化 コンプレッサー圧力設定の適正化 高効率照明、機器への更新
	廃棄物処理費用の削減	12	廃棄物リサイクル (廃塗料、スクラップ材、再生材料など)
	上下水費用の削減	0	
	包装材費用の削減	103	回収パレットの再利用
	物流費用の削減	0	
収益	事業場廃棄物のリサイクルに関わる有価物売却益	9	金属廃棄物や廃油の有価物化、 バイオマス発電の燃料として 木屑の有価物化
	使用済み製品リサイクルに関わる有価物売却益	0	
合計	239		

■ 2017年度環境保全コスト(工場・開発部門) (単位:百万円)

分類	主な取り組み内容	投資額	経費	
事業エリア内コスト	公害防止コスト	公害防止(大気、水質、土壌、騒音、振動、悪臭、地盤沈下など)	164	342
	地球環境保全コスト	地球温暖化防止及び省エネルギー、オゾン層保護など	114	154
	資源循環コスト	廃棄物の削減・リサイクル・適正処理、水使用量の削減	280	489
小計		558	985	
上・下流コスト	使用済み製品の回収・リサイクル・適正処理・外部団体への委託費用	0	3	
管理活動コスト	環境マネジメントシステムの整備・運用、情報開示、環境広告、従業員教育等	0	214	
研究開発コスト	技術開発コスト	環境配慮を第一目的とした要素技術開発及び生産のための設備導入	0	10
	包装・物流開発コスト	環境対応包装の開発・導入、物流における環境負荷抑制のための研究開発	0	0
小計		0	10	
社会活動コスト	環境保全を行う団体や地域住民が行う環境活動などへの寄付と支援	0	0	
環境損傷対応コスト	過去の汚染(地下水、土壌など)に関する調査及び対策など	0	6	
合計		558	1,218	

※設備投資額、費用額において、全額を環境保全コストと判断できない場合は、差額集計あるいは比率集計(按分集計)を行っています。
経費は人件費と設備投資の減価償却費および費用を含んでいます。